

【アゼルバイジャン経済トピック 130 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2023 年 3 月 31 日

国家水資源庁の発足

3月30日、イルハム・アリエフ大統領は、国家水資源庁(State Water Resources Agency)」を発足させる大統領令に署名しました。

国家水資源庁は、水道公社(Azersu OJSC)と土地改良・灌漑公社(Amelioration and Water Farm OJSC)を統合・再編する形で設置され、長官には、ザウル・ミカイロフ土地改良・灌漑公社長官が就任します。

発表によれば、今後5ヶ月以内に、国家水資源庁の綱領、機構、職員数の案を、国際企業によるコンサルティングを加味した上で、大統領に提出することとされています。大統領の承認が得られるまで、水道公社と土地改良・灌漑公社は従来の業務を継続します。

国家水資源庁の業務は、水の抽出、処理、輸送・供給、灌漑システムの運営改善、飲料水の供給、雨水・廃水の処理等とされています。また、水資源管理施設の定期的な管理とともに、地表・地下の水資源、水資源の管理施設、水力技術関連施設、給水システムの監視等も行います。

(以上)